

石クリ通信

4月号

スタッフ交代
事務長 石川 都

開院年の五月からほぼ七年間、受付業務を担当してくれていた森絵里子さんが、今月退職します。医療事務全般の重責を担ってこれたので、とても残念ですが、ご結婚による寿退職なので、これまでの感謝を込め、今後のご多幸を祈って皆で明るく見送りたいと思っています。

新居は東京のため、なかなか会えなくなりますが、日立に帰省の際は、クリニックにも気軽に顔を出してほしいと思います。目(さっか) 絵里子さん、どうぞ末永くお幸せに！

後任の伊藤真紀さんが、今引き継ぎで受付に入り始めました。業務に慣れるまで、どうぞ皆様の温かなご理解をお願いいたします。伊藤さんについては、次号で改めてご紹介する予定です。お楽しみに。

ご挨拶
事務 目 絵里子

私が石クリニックに就職してからもうすぐ7年が経ちます。沢山の患者様と出会い、この仕事にやり甲斐を感じながら働いてきました。久しぶりに診察に来られた患者様に「まだ苗字は森のままかよ」と独身いじりをされる事もありましたが3月に結婚し、引越す事になり、今月で退職する事になりました。患者様とちょっとした会話をすることが楽しかったです。私は石クリニックが好きです。寂しさや不安もありますが、ここで学んだ事を次に活かして頑張りたいと思います。どこかで会ったら声かけて下さいね！

気分爽快
看護助手 柴田 さち子

色は、人の気持ちにダイレクトに働きかけます。華やかな色を見ると華やかな気分になり、暖かい色を見ると体がポカポカ温かくなるような気分になります。そして、仕事や家庭でイライラした時には青色が効果的。青色には心身の興奮を鎮め感情を抑える働きがあるため、青の効果をとり入れれば感情にとらわれず冷静に。青空を眺めるだけでも心が落ち着きます。是非一度試してみたい方が多いか。(写真は常陸太田市竜神大吊橋です)



高齢者の運転免許
院長 石川 悟

高齢のドライバーによる交通事故が増えて、社会的な問題になっているのは皆さまご存知の通りです。認知症と診断されれば免許が取り消されるのは、歩行者の安全を守るために当然、という考えに反対する人は少ないでしょうが、車での移動が当たり前になっていく日立のような所で、突然車の運転ができなくなれば、生活の質の低下はまぬがれません。運転する権利を奪う判断を誰がするか、認知症の程度もいろいろで、はつきりした線引きが難しいこともあります。AIによる自動運転など技術的な進歩によって、高齢者も運転可能になるのはだいぶ先の話でしょう。

ドライブレコーダーは走行中の動画が記録されるため非常に便利で、小生は発売されてすぐに取り付けました。現在は記録時間も長くなって、事故の検証に役立っているようです。高齢者の車にドライブレコーダーを取り付けて、運転が危ないかをどうか判定する際の材料にしたかどうか、と思います。また例えば八十歳を過ぎたら一律「高齢者免許」として、高速道路の乗り入れ禁止、事故防止用センサー付の車に限り運転可能、低速の一人乗りの車のみ運転可能、などのアイデアも考えられます。

バスや電車など公共交通機関の充実を、と行政は言っていますが、今までの発想での取り組みでは限界があるでしょう。我孫子市では病院の送迎用マイクロバスや自動車学校の送迎バスなど、民間の送迎用の車に七十歳以上が無料で乗車できるバスを発行しているそうです。バス会社やタクシー業者の反対はあるでしょうが、日立市でも導入を検討してもらえれば、と思っています。

いるところにはいる
薬剤師 石川 恵

「春眠暁を覚えず」皆様のいかがお過ごしでしょうか。最近の脳内話題は、「日本で生まれ育った柴犬とチワワの間と、日本生まれのチワワとアメリカ生まれのチワワの間では、どちらが意思疎通が図りやすいのか」。我ながらすごさそうでもない、考えれば答えが出るものなのか？という話題ですが、最近読んだ本に「イルカは方言のせいで会話が通じないことがある」という項目発見。バンドウイルカは1800もの言葉を使い分けているそうで、住みか海が少し離れるだけで使う言葉が一割ほども違ってくるそうです。それ自体も「へえ〜」ですが、「イルカにも方言とかあるんじゃないの？」と考えて真面目に研究した人がいる、という事実が驚愕。人の数だけ思考回路があるんだなと実感したひと時でした。

久しぶりに...
看護師 澤田 彰子

今年の春は、卒業や入学もなく心配していた夫の転勤もなかったもので、穏やかな春を迎えられました。久しぶりにのんびりと有名どころの桜めぐりをして春を満喫したいと思います。

保育園
通信・ウェブ担当 石川 香

娘が2月から保育園に通い始めました。園の方針として、自然の中でとにかく沢山遊ばせる。小さいうちは沢山手づかみ食べをさせ、食事の楽しさを感じさせる。お絵描きはテーマを決めるのではなく、自由に描かせ子供は精神状態を読み取るようにする。習い事や勉強の時間は体力が、45分座つてられる集中力をつける、等で、現代つ子に必要なものはと賛同してこの園を選びました。唯一困ったのは、おむつを使わずパンツで生活すること。

韓国旅行
事務 田所 弓佳

先日初めて海外旅行に行きました。旅行先は冬季オリンピックが行われた韓国です。今回はショッピングと食べ歩きがメインの旅行になってしまいました。韓国は日本と違い深夜遅くまで営業しているお店がいくつもあったので朝から深夜まで買い物し、ご飯は韓国で有名なサムギョプサルや今日日本でも人気が出ているチーズタッカルビを食べました。(お肉ばかり食べていました...) 私は辛いのが全く食べられなかったのですが、食べたチーズタッカルビが辛く完食できる不安でしたが、食べていく内に辛さに慣れて手がとまらなく完食することができました。今回初めて海外旅行に行け、たくさん買い物ができ、また辛い物が少し食べられるようになり、いいことばかりの旅行になりました。次は韓国以外の海外に行ってみよう。

我が家の一大事
看護師 高山 早苗

石クリベ切の五日前の夕食時、主人に「なんかネタなあい？」と聞くと、テレビの横を指さした。それは、あの「三年目の開花」の蘭の鉢だった。八方に出ていり、先が芽のようになっていた。「えー？」三年周期に咲いていた我が家の蘭は、二月初めごろから芽が出始めたそうで、主人に言われるまで私は気づかなかった。来月号でどんな様子を紹介できるか楽しみです。

